

〈結果の推定方法〉

令和5年住生活総合調査における調査結果の推定方法は、令和5年住宅・土地統計調査における推計世帯数をベンチマークとする比推定とする。

(1) 推計地域の単位

各都道府県の市部、郡部を単位とする。なお、市区町村の行政区域は、令和5年10月1日現在による。

(2) 推定式

i：推計地域

j：住生活総合調査指定調査区

Fij：i推計地域j調査区の調査単位区における集計世帯数

Sij：i推計地域j調査区の調査単位区における当該集計項目の集計結果

Cij：i推計地域j調査区内の設定単位区数（j調査区の復元乗率）

Tij：i推計地域j調査区における復元乗率

Vij：i推計地域j調査区内の調査単位区における復元乗率

Pi：i推計地域の推計世帯数（令和5年住宅・土地統計調査） とし、

$$X_i = \frac{P_i}{T_i \sum_j C_{ij} V_{ij} F_{ij}} \quad (i \text{ 推計地域の比推定用乗率})$$

$$Z_i = X_i T_i \sum_j C_{ij} V_{ij} S_{ij} \quad (i \text{ 推計地域の推計結果})$$

$$Z = \sum_i Z_i \quad (\text{推計結果}) \quad \text{により求める。}$$

i推計地域における復元乗率 Ti は、

$$T_i = \frac{\text{i 推計地域の国勢調査区数}}{\text{i 推計地域の住生活総合調査指定調査区数}}$$

により求める。

i推計地域j住総指定調査区における復元乗率 Vij は、

$$V_{ij} = \frac{\text{調査単位区内の総住戸数}}{\text{調査単位区内の住宅・土地統計調査調査住戸数}} \times \frac{\text{調査単位区内の住宅・土地統計調査調査住戸のうち主世帯の住戸数}}{\text{調査単位区内の住生活総合調査住戸数}}$$

により求める。